

特別寄稿

# 『尾道大学日本文学論叢』創刊にあたって

尾道大学日本文学会会長

森 山 茂

『尾道大学日本文学論叢』は、尾道大学芸術文化学部日本文学科の研究・親睦団体である日本文学会の学会誌です。その創刊号を、このたび出版することになりました。執筆者は、教員二名、学生六名です。このように、尾道大学日本文学会は、教員も学生も同じ土俵で、研鑽を図っているという団体であります。

尾道大学の日本文学科は、日本で最初の芸術文化学部の日本文学科として誕生しました。教育・学習の中心を、「創造・感性」の育成にしています。若い人の創造力・感性を重視して、新しい文学研究や語学研究が開かれることを期待しています。

また、既成の文学のみでなく、新しい作品の誕生にも目を向けて、力のある人材の発掘にも努めています。

『尾道大学日本文学論叢』創刊号にも、そのすべての

ありかたが示されています。教員の研究と学生の研究との中にある類似と相違、新しい創作と古い時代の作品との間にある相違など、様々な読み方をしていただけたことと思っています。

いろいろな感想があることと思います。忌憚のないご意見・ご教示をいただければ幸いです。今後の学会の活動に、そして、尾道大学芸術文化学部日本文学科の発展のために活かしていきたいと思えます。ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。